

2025年度 受験曲目記入票

②

受験番号	★
------	---

名古屋音楽大学大学院

一般・社会人・ 一般二次・社会人二次	志望専攻 専攻	専攻細目名	実技名
フリガナ		演奏予定 時間	分 秒
氏名			

器 楽 専 攻	作曲者名		曲 目 (作品番号・楽章も記入のこと)	調 性	
	(1)				
	(2)				
	(3)				
声 楽 専 攻	作曲者名		曲 目	調 性	
	(1) 歌 曲	原 語			
		日 本 語			
	(2) ア リ ア	原 語			
		日 本 語			
	ジ ャ ズ	(1)			
		(2)			
		(3)			
	作 曲 専 攻	提出作品の曲名	(1)		
			(2)		
電 子 オ ル ガ ン		作曲者名・編曲者名	曲 目 (作品番号があれば記入すること)		
			使用機種(ELS-02C / ELS-02X(バイタライズ))いずれかに○を付すこと		
音 楽 教 育 専 攻	作曲者名		曲 目 (作品番号・楽章も記入のこと)	調 性	
			(実技名：)		

★印欄は記入しないでください。
「受験曲目記入票」は、必ずコピーを取っておいてください。

フリガナ	
伴奏者氏名	

伴奏者を伴う方は上記も記入してください。
試験で使用する楽譜は譜めくりの必要のないよう工夫してください。

2025年度
個人調書
(履歴書)

受験番号	★
------	---

名古屋音楽大学大学院

一般・社会人・ 一般二次・社会人二次	志望専攻	専攻名	専攻細目
		専攻	(実技名：)
フリガナ		性別	生年月日 (年齢)
氏名		男 女	(西暦) 年 月 日生 (満 才)
現住所	〒 - TEL () -		
学歴	西暦	年 月	高等学校 科卒業
	西暦	年 月	
	西暦	年 月	
職歴			
主たる業績			

★印欄は記入しないでください。

※志望専攻欄の専攻細目名の () 内に、実技名を記入してください。

名古屋音楽大学大学院 研究計画書

西暦 年 月 日

フリガナ		性別
氏名		男・女
研究題目		
研究計画概要		

⑦

音楽療法臨床経験表

氏名		受験番号	★
----	--	------	---

表中の例を参考に、自身の音楽療法臨床経験を場所（施設）単位で記入すること。

場所	対象	期間と頻度	役割	目標と音楽療法体験の概要
(例) 特別養護老人 ホームA苑	-軽度から中度の認知症 のある高齢者 -うつ病のある高齢者	2021年4月から7月毎週 (フィールドワーク実 習の一環)	-伴奏者 -主セラピスト -コセラピスト	-器楽演奏を通じた社会性の向上（「うみ」に合わせて オーシャンドラムを演奏し隣の人に回る -音楽クイズを通じた認知機能の向上（対象者の馴染 みの歌の音源の前奏を鳴らし、○×クイズに回答し てもらう）

表が足りない場合は、追加ページを作成し添付すること。

★印欄は記入しないでください。

⑧

研究業績一覧

氏名		受験番号	★
----	--	------	---

表中の例を参考に、自身の音楽療法研究業績を記入すること。

単著共著の別	発行または発表の年月	学術書、学術論文等の名称	発行所、発表雑誌、授業名等の名称	概要
授業課題の例 名音花子	20XX	「精神力動と音楽療法」	名古屋音楽大学の音楽療法各論IIの課題	精神力動の主要概念、歴史、臨床への適応、音楽療法への適用をまとめた
学会発表の例 名音花子と名音太郎	20XX年9月	「自閉スペクトラム症のある子供に対するオンライン音楽療法の可能性と課題：実践報告」	〇〇県〇〇市で開催された第XX回〇〇学会学術大会で行われた口頭発表	新型コロナ蔓延により対面による音楽療法の実施ができなくなった状況において行った、Zoomを用いたオンライン音楽療法において見られたクライアントの反応と、反応を高めるために実施した特別な配慮、課題を報告し、今後のオンライン音楽療法の展望について考察した。
学会論文の例 名音花子	20XX	「死別を経験した青年に対するオンライン歌作りの経験：事例研究」	日本〇〇学会学術誌X号	実母との死別を経験以降、ひきこもり状態となった青年に対するオンラインによる歌作りの経験の意味を、クライアントとセラピストが共同で作成した歌詞と楽曲、クライアントのジャーナルの分析を通してその意味を考察した。

表が足りない場合は、追加ページを作成し添付すること。

★印欄は記入しないでください。

⑨

臨床実習の事前調査書
(ノードフ・ロビンズ音楽療法士資格を目指す方のみ)

名古屋音楽大学大学院

氏名		提出日	年 月 日
----	--	-----	-------

ノードフ・ロビンズ音楽療法 (NRMT) の認定トレーニングでは、個人90時間とグループ45時間の、合計135時間の臨床実習が必修となります。それぞれのケースについて、以下の条件を満たすことが求められます。

NRMT臨床実習に求められる内容

- 定期的で安定した実施スケジュール
- セラピストはピアノかギターでの臨床即興による関わりが可能
- NRMTトレーニングでの学びを反映させられるようなセッション内容が実現できる (即興のアプローチ、NRMTの楽曲の活用、セラピストのチームワークなど)
- NRMTのアプローチに基づいたアセスメント、目標設定、実施、記録が行える
- セッションを行う現場環境が音楽を聴き、演奏することに集中できる設定である
- グループセッションにおいて、メンバーが固定されている (メンバーの人数は子どもであれば3~5名、大人であれば8名程度まで許容範囲とする)
- ビデオ録画・録音が可能
- 限定された学びの環境への情報共有が可能 (ビデオや録音データの使用許可を含む)

現時点で、上記の条件を満たすケースがあれば、候補として下記の表へ情報の記入をお願いします。もし条件を満たすケースが受験の段階で存在していなくても、それによって不合格となることはありません。しかし、トレーニングが始まれば、こうしたケースが必要になることを念頭に、具体的な準備をしておいてもらうをお願いします。

候補となる臨床実習の内容

個人セッション①		グループセッション①	
クライアント情報		クライアント情報	
臨床現場		臨床現場	
セッション時間(分)と頻度		セッション時間(分)と頻度	
プライマリーセラピスト		プライマリーセラピスト	
コ・セラピスト	有(音楽療法士/関係領域のスタッフ/その他) / 無	コ・セラピスト	有(音楽療法士/関係領域のスタッフ/その他) / 無
個人セッション②		グループセッション②	
クライアント情報		クライアント情報	
臨床現場		臨床現場	
セッション時間(分)と頻度		セッション時間(分)と頻度	
プライマリーセラピスト		プライマリーセラピスト	
コ・セラピスト	有(音楽療法士/関係領域のスタッフ/その他) / 無	コ・セラピスト	有(音楽療法士/関係領域のスタッフ/その他) / 無
個人セッション③		グループセッション③	
クライアント情報		クライアント情報	
臨床現場		臨床現場	
セッション時間(分)と頻度		セッション時間(分)と頻度	
プライマリーセラピスト		プライマリーセラピスト	
コ・セラピスト	有(音楽療法士/関係領域のスタッフ/その他) / 無	コ・セラピスト	有(音楽療法士/関係領域のスタッフ/その他) / 無

⑩

2025年度

受験番号

★

推 薦 状
Letter of Recommendation

名古屋音楽大学長
清水 皇樹 殿

下記の者を貴大学への進学者として、適当と認め推薦いたします。

志願者名 _____

推薦者氏名 _____

所属 _____

★ 印欄は記入しないでください。

受験番号	★
------	---

2025年度
志望理由書

名古屋音楽大学大学院

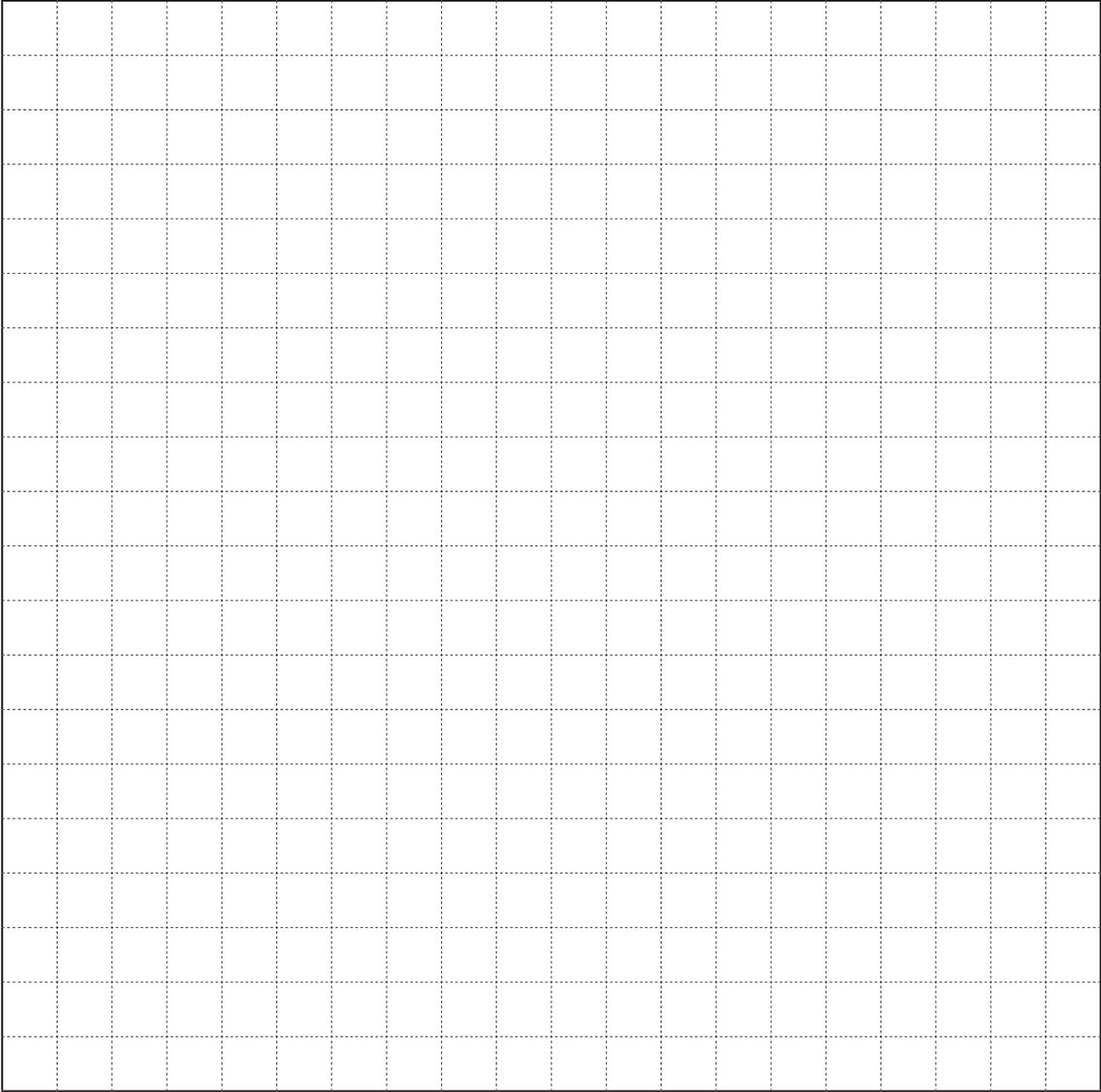
試験区分	志望専攻			氏名
社会人・社会人二次	専攻名	専攻	専攻細目 ()	

										(100)
										(200)
										(300)
										(400)

★印欄は記入しないでください。

※志望専攻欄の専攻細目名の () 内に、実技名を記入してください。

裏面あり



(500)

(600)

(700)

(800)

